

教育目標：よく考え 進んで学ぶ子 自分も友だちも大切にする子  
正しく判断し 行動できる子 体を鍛え 最後までやりぬく子



学校だより

高 松

令和7年10月1日 発行

立川市立第五小学校

校長 関口 保司

〒190-0011  
立川市高松町1丁目12番25号  
TEL 042-523-5238  
042-523-5230 (こだま学級)  
FAX 042-529-0854  
HP <http://www.tachikawa-edu.jp/es05/>

## 工夫・チャレンジ・学び合い ～運動会への思い～

校長 関口 保司

記録的な猛暑が過ぎ去り、スポーツの秋がやってきました。子どもたちは、運動会の練習に元気いっぱい取り組んでいます。

今年度の運動会を実施するにあたり、改めてここ数年間の運動会を振り返ってみました。令和2年度、新型コロナウィルスが猛威をふるい、4・5月の学校は臨時休業となりました。その時入学したのが、今の6年生です。学校は、授業はもちろん、様々な学校行事も中止や実施方法を工夫しました。令和2年度の本校の運動会は、オンラインや全校を3分割して実施したと記録に残っています。新型コロナウィルスの後、本校では令和4年度6月から西校舎の建設が始まりました。完成した令和5年度からは、やや狭くなった校庭に、斜めのトラックを引いて運動会を実施することとなりました。運動会を振り返って、改めて感じたことがあります。それは、その時々の教職員が、社会や学校の状況を踏まえながらも、子どもたちの成長を一番に願い、工夫を重ねてきたことです。(右の表にはまとめきれないことも、たくさんあります)毎回の運動会には、前年度にはない多くのチャレンジする内容が含まれています。工夫やチャレンジを実施するには、精一杯の準備が必要です。うまく実施できるときもあれば、さらなる課題を突き付けられることもあります。しかし、工夫やチャレンジがなければ、より良いものをつくり上げることはできません。

今年度の運動会は、競技に大きな工夫(チャレンジ)を取り入れました。全学年の表現に加え、1・3・5年は団体競技、2・4・6年は短距離走を行います。そしてプログラムの最後の競技として、全校競技(「赤白対決!大玉レース2025」)を実施します。これらは、多くの運動に親しんでほしいという思いを基にしたもので、また、様々な競技を行うことにより、赤白の得点を復活させることにしました。私の願いは「子どもたちが学び合う運動会」です。高学年の子どもたちが競技や係活動で頑張る姿を、低・中学年の子どもたちが見て学んでほしいと思います。また一つの行事を実施するには、かけで支える人もたくさんいます。運動会当日はもちろん、練習や準備の時から努力する姿を、互いに見合い、学び合って成長してほしいのです。

今年度の運動会まで、あとわずかとなりました。頑張る子どもたちに、保護者や地域の皆様から、多くの励ましの声をかけていただきますようお願い申し上げます。

年度	おもな実施方法の工夫
2	開閉会式はオンライン 低・中・高の3分割 短距離走と団体競技 保護者入れ替え(10月3日)
3	全校3分割(3年・5年 1年・2年 4年・6年) 表現と短距離走 保護者入れ替え(6月5日)
4	全校で一堂に会して実施 応援団もあり 表現と短距離走 保護者低・中・高で入れ替え(5月28日)
5	少し狭い校庭 斜めのトラック 表現と短距離走 学年優先ゾーンの設置 保護者2名入れ替えなし 地域の参観制限あり (10月28日)
6	表現と短距離走 保護者・地域参観制限なし (10月19日)
7	全学年の表現と135年団体競技・246年短距離走 全校競技の導入 得点の導入(10月18日)